



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月10日

上場会社名 株式会社 ジュンテンドー 上場取引所 東  
 コード番号 9835 URL http://www.juntendo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 正  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長兼総務部長兼経営企画室長 (氏名) 尾原 司 TEL 0856-24-2400  
 四半期報告書提出予定日 2023年10月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の業績 (2023年3月1日～2023年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	23,628	0.7	499	△51.6	502	△51.6	281	△56.9
2023年2月期第2四半期	23,465	—	1,033	—	1,038	—	654	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	34.74	—
2023年2月期第2四半期	80.68	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第2四半期	38,313	12,917	33.7	1,592.72
2023年2月期	37,879	12,724	33.6	1,568.82

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 12,917百万円 2023年2月期 12,724百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年2月期	—	0.00			
2024年2月期(予想)			—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,500	3.4	550	△39.3	500	△45.8	300	△21.6	36.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	8,331,164株	2023年2月期	8,331,164株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	220,616株	2023年2月期	220,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	8,110,716株	2023年2月期2Q	8,111,709株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
3. 補足情報 .....	7
商品別売上高 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけの5類への移行に伴い、経済活動の再開や各種催事の復活の効果から、景気は緩やかな回復に向かいました。個人消費につきましては、外出機会の増加とリバウンド需要及び賃上げの広がり等による雇用・所得環境の改善から消費マインドが上向き、回復の兆しが見えました。一方、食品や生活必需品の度重なる値上げにより、消費者の買い控えの意識も高まってきました。今後の見通しとしましては、エネルギーコストの上昇や円安の影響による物価上昇が継続し、上向いている消費マインドが再び低下することや、ウクライナ情勢をはじめとする地政学リスクの長期化等による影響から、景気が悪化することが懸念されます。

当第2四半期累計期間の売上高及び営業収入につきましては、「ホームセンターは、農業、園芸、資材、金物、工具、ワーキングの専門店である。」の基軸のもと、園芸農業、資材工具関連部門を中心に継続して商品力の強化に取り組んでまいりました。第1四半期は売上が見込める4月、5月の連休や各週末の天候不順が客数の減少や購買意欲に影響し低調に推移致しました。第2四半期に入り、お盆期間中の台風の影響を除けば天候に恵まれた事や積極的な販売促進施策等が功を奏し、累計期間全体におきましては前年同期を上回り、第1四半期における減少分を挽回することができました。部門別に見ますと、家庭雑貨・家庭電器部門は、猛暑により洗濯洗剤用品、殺虫忌避剤や電気料値上げによる省エネ商品が好調に推移し、前年同期を上回りました。一方、園芸農業・資材工具部門におきましては、園芸機械等は好調でありましたが、木材の市況変化等の要因から前年同期を下回りました。その他、価格強化したペット関連商品は前年同期を上回る結果となりました。店舗につきましては、当第2四半期累計期間において、ホームセンター2店の開店及び全面改装2店を実施いたしました。

当第2四半期累計期間の売上高及び営業収入は、236億2千8百万円で前年同期比1億6千3百万円(0.7%)の増加となりました。売上高は、231億8千1百万円で前年同期比1億7千2百万円(0.7%)の増加、営業収入は4億4千6百万円で前年同期比9百万円(2.0%)の減少となりました。

損益面では、価格競争による売上総利益の減少、人材確保のための人件費増加、エネルギーコスト上昇による水道光熱費の増加等の影響から、営業利益は4億9千9百万円で前年同期比5億3千3百万円(51.6%)の減少、経常利益は5億2百万円で前年同期比5億3千5百万円(51.6%)の減少となりました。四半期純利益につきましては、2億8千1百万円で前年同期比3億7千2百万円(56.9%)の減少となりました。

第3四半期以降におきましては、ホームセンターの全面改装1店を予定しており、売上高の増加と、収益の向上に努めて参ります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較し4億3千3百万円増加し、383億1千3百万円となりました。これは、主に棚卸資産3億1千9百万円、有形及び無形固定資産2億5千万円の増加と現金及び預金2億3千1百万円の減少等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較し2億3千9百万円増加し、253億9千5百万円となりました。これは、主に仕入債務5億1千8百万円の増加と、借入金1億円及び流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形2億4千4百万円の減少等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較し1億9千3百万円増加し、129億1千7百万円となりました。これは、主に四半期純利益による2億8千1百万円の増加と、剰余金の配当による1億2千1百万円の減少等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ2億3千1百万円減少し、10億6千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は11億6千万円（前年同四半期は17億6千万円の増加）となりました。

主な要因は、資金収入の税引前四半期純利益4億6千5百万円、仕入債務の増加5億1千8百万円及び非資金費用の減価償却費6億3千6百万円等に対し、資金支出の棚卸資産の増加3億1千9百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は10億8千8百万円（前年同四半期は14億8千2百万円の減少）となりました。

主な要因は、有形及び無形固定資産の取得による支出11億5千9百万円等によるものであります。支出の主な内容は、店舗の新規出店及び改装等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は3億3百万円（前年同四半期は1億5千8百万円の増加）となりました。

主な要因は、長期借入金23億5千万円の調達に対し、短期借入金の純減額11億円、長期借入金13億5千万円の返済及び配当金の支払1億2千1百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年4月12日決算短信において公表しました予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,301,317	1,069,520
受取手形及び売掛金	313,985	478,476
商品	13,697,224	14,018,636
貯蔵品	39,091	37,465
その他	582,007	572,904
流動資産合計	15,933,626	16,177,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,018,582	29,050,024
減価償却累計額	△18,228,742	△18,549,507
建物及び構築物(純額)	9,789,839	10,500,516
土地	6,014,402	5,996,722
その他	5,057,390	4,746,251
減価償却累計額	△3,537,666	△3,673,015
その他(純額)	1,519,723	1,073,235
有形固定資産合計	17,323,966	17,570,474
無形固定資産	307,253	311,445
投資その他の資産	4,315,031	4,254,203
固定資産合計	21,946,251	22,136,123
資産合計	37,879,877	38,313,127
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,124,716	3,107,734
電子記録債務	4,144,232	4,679,795
短期借入金	1,100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,468,044	2,671,994
未払法人税等	191,574	263,554
引当金	175,184	224,124
資産除去債務	1,400	—
その他	1,860,438	1,607,507
流動負債合計	13,065,591	12,554,709
固定負債		
長期借入金	8,664,894	9,460,708
退職給付引当金	2,344,641	2,359,682
資産除去債務	568,868	579,733
その他	511,315	440,453
固定負債合計	12,089,719	12,840,578
負債合計	25,155,311	25,395,288
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,224,255	4,224,255
資本剰余金	4,011,275	4,011,275
利益剰余金	4,494,101	4,654,212
自己株式	△95,820	△95,860
株主資本合計	12,633,812	12,793,883
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	90,753	123,955
評価・換算差額等合計	90,753	123,955
純資産合計	12,724,566	12,917,838
負債純資産合計	37,879,877	38,313,127

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	23,009,879	23,181,889
売上原価	15,976,918	16,304,094
売上総利益	7,032,961	6,877,795
営業収入	455,937	446,936
不動産賃貸収入	274,473	272,261
その他の営業収入	181,463	174,675
営業総利益	7,488,898	7,324,732
販売費及び一般管理費	6,455,312	6,824,957
営業利益	1,033,585	499,774
営業外収益		
受取利息	5,107	5,254
受取配当金	8,816	8,001
受取手数料	2,397	2,397
受取保険金	2,366	5,018
雑収入	21,937	21,879
営業外収益合計	40,625	42,551
営業外費用		
支払利息	29,979	35,511
雑損失	5,370	3,933
営業外費用合計	35,349	39,444
経常利益	1,038,861	502,881
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	144
工事負担金等受入額	—	18,518
特別利益合計	—	18,663
特別損失		
固定資産売却損	—	343
固定資産除却損	24,696	11,546
減損損失	28,202	17,859
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	25,700
リース解約損	—	220
特別損失合計	52,898	55,668
税引前四半期純利益	985,962	465,876
法人税、住民税及び事業税	364,720	192,727
法人税等調整額	△33,171	△8,625
法人税等合計	331,549	184,102
四半期純利益	654,413	281,774

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	985,962	465,876
減価償却費	553,162	636,448
減損損失	28,202	17,859
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,310	28,813
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	16,485	15,041
受取利息及び受取配当金	△13,924	△13,255
支払利息	29,979	35,511
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	—	343
有形及び無形固定資産除却損	24,696	11,546
受取保険金	△2,366	△5,018
工事負担金等受入額	—	△18,518
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	25,700
売上債権の増減額 (△は増加)	△116,949	△164,490
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△541,529	△319,785
仕入債務の増減額 (△は減少)	849,807	518,580
その他	13,721	68,100
小計	1,847,559	1,302,750
利息及び配当金の受取額	9,941	9,132
利息の支払額	△28,874	△34,627
保険金の受取額	2,456	5,666
法人税等の支払額	△70,570	△123,098
法人税等の還付額	143	1,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,760,657	1,160,914
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,430,320	△1,159,236
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	505
貸付金の回収による収入	920	920
工事負担金等受入による収入	—	18,518
その他	△52,747	50,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,482,147	△1,088,814
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	△1,100,000
長期借入れによる収入	1,900,000	2,350,000
長期借入金の返済による支出	△1,239,064	△1,350,236
リース債務の返済による支出	△43,911	△47,657
割賦債務の返済による支出	△37,657	△34,814
自己株式の取得による支出	△70	△40
配当金の支払額	△121,038	△121,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	158,257	△303,896
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	436,767	△231,796
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,587	1,301,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,835,355	1,069,520



## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 補足情報

商品別売上高

(単位：千円)

部門別	期別	前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)	(参考)前期 (2023年2月期)
		金額	金額	金額
売上高	家庭雑貨・家庭電器	5,856,605	5,948,849	11,992,044
	園芸農業・資材工具	13,314,836	13,309,900	23,792,776
	趣味・嗜好	3,492,594	3,650,125	7,584,039
	その他	1,719	1,428	3,142
	ホームセンター事業	22,665,755	22,910,304	43,372,002
	関連事業	344,123	271,585	685,867
	売上高合計	23,009,879	23,181,889	44,057,870
営業収入	ホームセンター事業	439,267	434,908	872,073
	関連事業	16,670	12,027	34,787
	営業収入合計	455,937	446,936	906,861
営業収益(売上高及び営業収入合計)		23,465,816	23,628,826	44,964,731

(注) 1 ホームセンター事業の各部門の内容は次のとおりであります。

家庭雑貨・家庭電器	台所用品、家庭用品、日用消耗品、家電製品、寝装・インテリア等
園芸農業・資材工具	家庭園芸用品、農業用品、工具・建築金物、塗料・作業用品等
趣味・嗜好	ペット用品、オフィス・店舗用品等
その他	消耗品等

2 関連事業の内容は次のとおりであります。

書籍・CD・DVD等